







だけど……なかみは食べてしまうからいい。 残った「いれもの」は、どうなるんだろう? -これは、「いれもの」がリサイクルされて ふたたび生まれかわるまでの物語です-



公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会



夕食が終わったら、チェックしよう。 じっくり見てほしいのは、キッチンのごみ箱。 きっとそこは、ごみでいっぱい。

友だちにも聞いてみよう。 クラスのみんなはどう、 ウチと同じ? ごみ箱が一杯にならない家って、あるのかな?

想像をふくらませてみよう。 日本中の家からでるすべてのごみは トラック何百台・何千台・何万台分*…… みんなで協力して減らさないと、たいへんだ。

そこで、「リサイクル」という考えが生まれた。

たとえば、おかしの箱をリサイクルして、 もう一度、役にたつものへ変身させる。 飲みもののPETボトルも、食パンの袋も ガラスびんも、生まれかわる。 ちょっと良い考えでしょ?

リサイクルの出発点は、みなさんの家。 ごみが、また生まれかわるためには みなさんのチカラが欠かせない。 でも、何をすればいいの? その答えをさがしに さあ、リサイクルの旅に出発!

*日本では年間およそ5,000万トンものごみが家庭から出され、 その容量の約60%が容器(いれもの)、包装(つつむもの)です。





- 飲みおわったワインボトル
- ②ジャムのびん、ドレッシングのびんなど



分けないと…

もとのびんに 生まれかわれません

同じガラスでも びんと他のガラスは、分けて出す

(分けるものの例)

- ●耐熱性ガラスのナベ、皿
- ●乳白色のびん
- ●ガラス食器
- ●農薬・劇薬のびん
- ●電球・蛍光灯など

新しいものに… 生まれかわる

●ガラスびんなど ●断熱材・建築・土木材料など



また、ワインが飲めるね!

キャップをはずす (いっしょに捨てない)

家庭で

中をゆすぐ

あつめて



じょうぶなびんに 生まれかわれません

市町村で

色分け **無色** (とうめい) その他

★色分けについては、お住まいの地域の ルールを守ってください

ごみを取りのぞく

さらに人の手で、 ごみを取る

> 集じん機を 大きな磁石で、 釜属を取り 使って、小さな

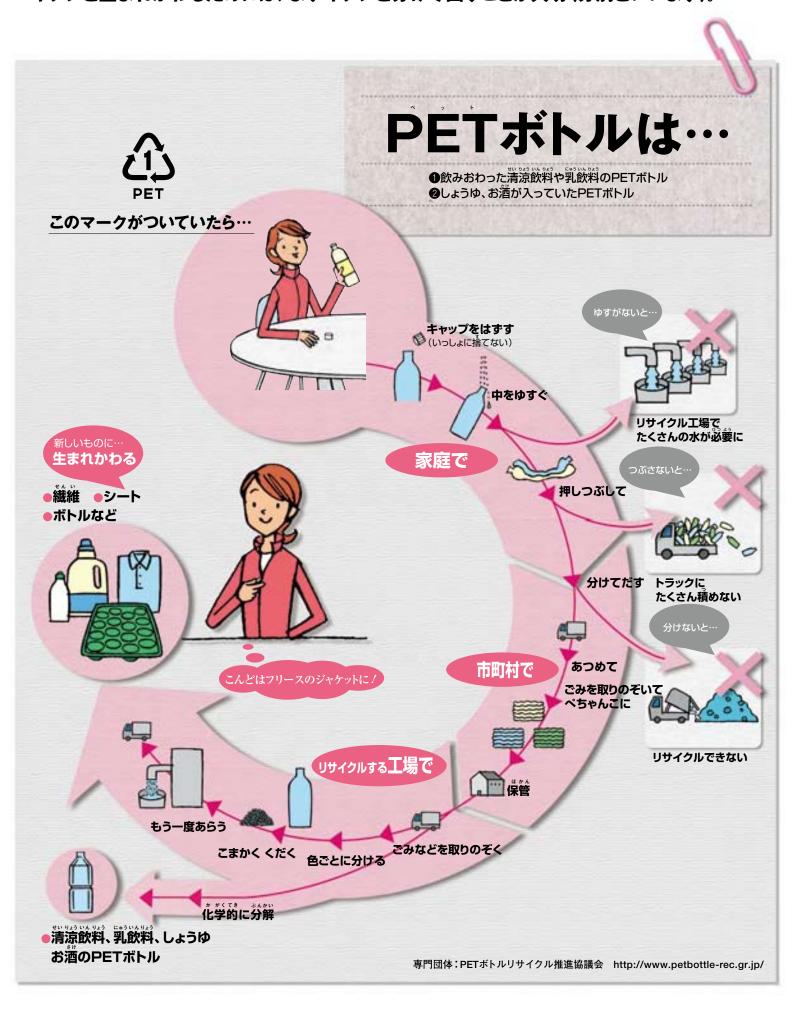
こまかく くだく

★ビールびんや牛乳びんのように使いおわったら洗って 何回もくりかえし使える「リターナブルびん」は、きちんとお店に戻してください ★ガラスびんを区別する特別なマークはありません

のぞく ごみを取る リサイクルする工場で

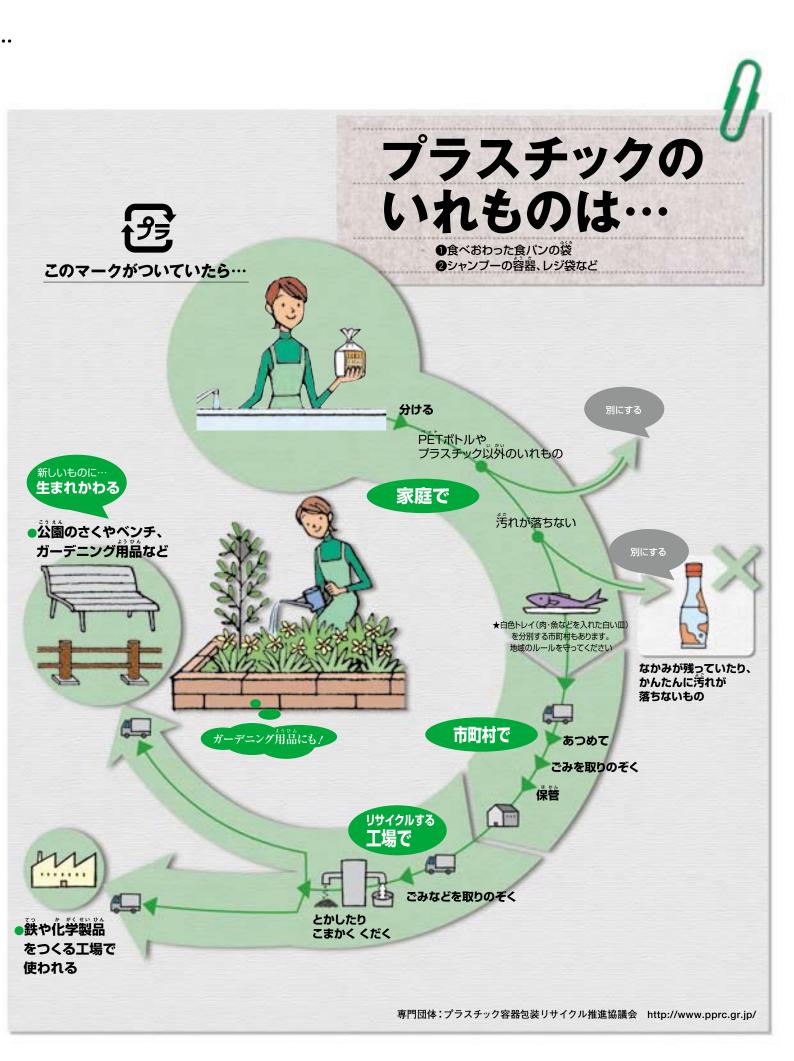
専門団体: ガラスびんリサイクル促進協議会 http://www.glass-recycle-as.gr.jp/

キチンと生まれかわるためには、まずキチンと分けて出すことが大切(分別といいます)。



分別されて、ぶじに旅を終えたモノたちが、ふたたび私たちの暮らしのなかへ(これがリサイクル)・





家からでるごみ、その量の半分以上がいれもの(容器)と、つつむもの(包装)。 だから、使いおわった「いれもの」をもういちど生まれかわらせることができれば ごみの量はグンと少なくなるはず……これが「リサイクル」と呼ばれる考えかたです。 そこから容器包装リサイクル法*が生まれました。

みなさんにも、ぜひ守ってほしいたいせつなルールがあります。



みなさんが…

●みなさんに守ってほしいルール。 それは、一人ひとりがキチンと分別すること



それぞれが 役割をはたした時、 あき容器と包装は、

また生まれかわること ができます。

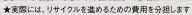


市・町・村が…

●市・町・村(役所)は、家で使い終わった「いれもの」 「つつむもの」を集めて、リサイクルする会社へ渡すこと

つくる人・売る人が…

●「いれもの」をつくる人(会社)、「いれもの」「つつむもの」を 使って商品を売る人(会社)が責任をもってリサイクルすること





そして、私たち協会が…

容器包装リサイクル法とともに生まれたのが、私たち日本容器包装リサイクル協会。 いれもの(容器)と、つつむもの(包装)のリサイクルに必要な費用をあずかり、 リサイクル会社に仕事をお願いしたりと、いろいろなお手つだいをしています。

公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-14-1 郵政福祉琴平ビル2F 企画広報部 03-5532-8610 · 8667/総務部 03-5532-8597 ●ホームページ:http://www.jcpra.or.jp/